

定例教育委員会（8月度）議事録（要点筆記）

1. 開会及び閉会に関する事項

○開催日時 令和7年8月5日（火）
開会 15時15分 閉会 16時10分

○開催場所 直方市役所6階 第3委員会室

2. 出席者及び欠席委員の氏名

○出席者 教育長 山本 栄司
教育委員 中野 昭子 阿部 英子

○欠席者 教育委員 篠田 尊徳 内藤 誠治

3. 教育長、教育委員および傍聴人を除く外、出席した者の氏名

教育部長	宇山 裕之	こども育成課長	岩尾 栄子
学校教育課長	林 教司	文化・スポーツ推進課長	船越 健児
学校教育課管理主事	井手上 大輔	教育総務課長	石橋 剛
学校教育係長	守田 雄樹	スポーツ推進係長	和田 豊
教育総務係長	天野 浩輔	規模適正化推進係	田代 光太郎

4. 教育長の報告

別添資料参照（教育委員会行事報告、教育委員会行事予定）

5. 議題及び議事の概要

○議案（議案書は別紙）

議案番号	内容	結果
主管課	趣旨	
議案第 10 号	令和 6 年度直方市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について	可決
教育総務課	提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 21 号 議案概要… ・主要施策についてほとんど計画通り適切に実施 ・成果は全体として概ね良好 ・教育委員会による各主要施策の達成評価は妥当 ※詳細は資料を参照	

委員意見質問、特になし。

議案第 11 号	直方市学校適応指導教室設置要綱等の一部を改正する要綱について	可決
学校教育課	提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 2 号の規定により提案 議案概要…直方市学校適応指導教室の名称を直方市教育支援センターに変更することに伴い、関連する要綱の文言の一括整理を行う。 ※詳細は資料を参照	

委員意見質問

阿部委員 実際に生徒が通うのはどこになるのか。

林課長 今は植木の旧コンピュータカレッジにあるが、保健福祉センターができればこちらに移転する。

阿部委員 小学校に拡充された場合も同じ場所か。

林課長 同じ場所になる。ただ小学校に広げるところも、運営委員会で代表校長とも話をして、その中で最初は高学年に限定をして、1年生のときから支援センターありきではなく、高学年のところからというところ、今のところ計画をしている。

教育長 小学校まで広げるのは決定か。

林課長 人的配置もあるので、今はまだ計画段階である。

中野委員 新しくできる保健福祉センターに入るということだが、市民部の管轄の施

設の中に、教育委員会の管轄の施設が入るということか。

- 林課長 保健福祉センターの一角に入る。
- 中野委員 中央公民館がある敷地は、教育委員会と市民部の両方が管轄していて、複雑な割り振りになってるということを知ったことがあるが。
- 守田係長 保健福祉センターの一角を借りて、負担金を払うような形を考えている。
- 宇山部長 負担金が賃貸料かといったところは、払うかどうかも含めて、今後協議を行う予定である。
- 中野委員 今中央公民館が貸館を行っているが、そういう形で利用料が発生するということか。
- 宇山部長 まだ条例の提案等がなかったので、現時点では何とも言えないが、例えば社会福祉協議会やこの教育支援センターなどの団体が一部を使う形はあっても、貸館のような形はやらないのではないか。
- 中野委員 保健福祉センターはどこかの管轄になるのか。
- 宇山部長 市民部の管轄になる。
- 中野委員 同じ敷地だが、今までどおり中央公民館は教育委員会の管轄となるのか。
- 宇山部長 中央公民館は教育委員会の管轄である。土地の管理については確認する。
- 中野委員 男女共同参画センターは市役所の中に移ったのか。
- 宇山部長 すでに移っている。
- 中野委員 不登校の生徒だが、中学校に行かなくなった場合、高校受験に関してはどのような支援をされるのか。
- 林課長 現時点でも適応指導教室に通う生徒も受験をしており、進学もほぼ決まっている。もちろん適応指導教室に通う生徒や、校内の適応指導教室であったり、若干足が遠のいている生徒たちも、今、高校の方も受け入れていただける学校がかなり多いので、そういったところで、中学校も適応指導教室の方も、進路指導では進学の方で支援をしており、進学はかなり叶ってる方かと考えている。

議案第 12 号	直方市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について	可決
学校教育課	提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 2 号の規定により提案 議案概要…直方市学校適応指導教室の名称を直方市教育支援センターに変更することに伴い、別表中の文言の整理を行う。 ※詳細は資料を参照	

委員意見質問、特になし。

○協議事項
なし

○報告事項

●直方市学校規模適正化基本計画検討委員会について【教育総務課】

報告概要…7月30日に開催した第5回委員会の協議概要と8月26日に開催予定の第6回委員会の協議予定内容について報告。

※詳細は資料を参照

委員意見質問、特になし

●令和7年度直方市保育所等給食支援費補助金交付要綱の制定について

【こども育成課】

報告概要…直方市内の保育所及び認定こども園において、栄養バランスや量を保った給食の実施と保護者の負担軽減を図るため、給食の食材費の高騰による費用の一部を交付することに伴い、必要な事項を定めた要綱の策定を行う。

※詳細は資料を参照

委員意見質問、特になし

○その他

●9月行事について【学校教育課】

委員意見質問

中野委員 中学校の修学旅行で、直方一中が万博に行かないとのことだが、招待券は返すことになるのか。

林課長 万博については、市ではないところからの補助であり、一中は行程に万博が入っていないため、この補助がないというだけで、他の学校と不公平のない形になっている。

●グローバル人材育成進捗報告【学校教育課】

7月23日(水)に、3回目となるオンライン事前研修を開催し、全員が参加した。フィンランドの社会制度の説明や事業者からの安全対策の説明等を行った。8月1日(金)に4回目のオンライン事前研修を行い、8月3日(日)に歳時

館で壮行会を開催した。壮行会では参加者全員の決意表明、市長・教育長との懇談等を行った。次回は出発になるので、体調管理等のお願いを行なった。

委員意見質問、特になし

●直方市中学校部活動地域展開等検討委員会について【文化・スポーツ推進課】

これまで検討委員会を3回開催。第1回では、これからのスケジュール、委員会で協議する項目の確認、教職員の兼業兼職についてのアンケート等の説明を行った。第2回では、アンケート結果の報告を行い、結果を踏まえ二つのワーキンググループを作り、それぞれで議論を行なった。Aグループは、種目ごとの適正チーム数の検討、Bグループは地域クラブの指導が可能な地域人材の発掘について議論を進めている。第3回でも引き続きグループで議論を行った。また、6月30日と7月1日に体育協会の加盟団体への説明会を実施し、体育協会の加盟団体で、今後指導者不足が懸念されることの情報共有等をお願いしている。今後、年末までにあと3回程度検討委員会を開催する予定としている。その中で議論をまとめ、年度末までに教育委員会の答申を目指す方向で進んでいる。

委員意見質問

教育長 今年度の検討委員会が終わった後の検討はどのようなスケジュールになるのか。

船越課長 答申を受けた後、市としては国のロードマップに沿ったスケジュールで進めていきたいと考えている。

中野委員 地域移行した後の指導者の人選に関する事で、よく暴力事件といったことも耳にするが、人選をどのように行なうのか。

教育長 地域に任せるから誰でもいいというわけにはいかない。今でも部活動に関する地域からの指導員については選考を行っている。そういったような流れをこれからも継続してやっていくような形になる。

船越課長 基本的には、研修はもちろんだが、指導員の資格を取っていただいて、指導員として登録をしていただくような形を考えている。当然誰でもいいということではないので、そういった問題が起こらないように、しっかり研修や登録の制度を整えていきたいと考えている。

中野委員 仮に問題が起こったときに、それを検証する第三者委員会といったシステムが今後必要になるのではないか。

教育長 これは全国的な動きで行なっているもので、今後先行事例等が提供されてくるだろうと思う。そういったものも注視しながら進めて

いきたい。

- 会議録署名委員の指名について
阿部委員を指名

6. 閉会

(署名)
直方市教育委員会教育長

山本 栄司

(署名)
直方市教育委員会教育委員

阿部 菜子